

■平成27年度 福岡市高速鉄道事業会計決算の概要

1. 概況

福岡市の高速鉄道事業は、昭和56年7月26日に空港線（1号線）室見～天神間で営業を開始して以来、順次部分開業を続け、平成5年3月3日の空港線博多～福岡空港間の開業により、空港線と箱崎線（2号線）の全区間が開業しました。また、西南部地域における基幹交通機関として七隈線（3号線）橋本～天神南間が平成17年2月3日に開業し、空港線、箱崎線と七隈線を合わせて29.8キロメートルで営業しています。

主な建設改良事業については、七隈線延伸事業において、土木本体工事等を着実に推進するとともに、軌道・電気・建築・設備等に関する工事の設計を進めています。

営業線改良事業については、福岡空港ターミナルビル移転に伴う新しいビルの計画にあわせて、地下鉄と空港の交通結節機能の強化を図る福岡空港駅改造事業をはじめ、安全・安心の向上のため、ATC（自動列車制御装置）等の列車制御装置やトンネル・高架橋等の土木構造物の改良に取り組んでいます。また、ユニバーサルデザインに配慮した地下鉄施設の整備推進を図るため、エレベーターの整備や車両座席の改良、駅トイレの改良等に取り組んでいます。

増客増収の取組みについては、地下鉄全線乗り放題定期乗車券「ちかパス」等の企画乗車券の販売促進に加え、1日乗車券特典施設の拡充及びICカード「はやかけん」電子マネー加盟店の拡充などによるお客様の利便性向上、民間タイアップによる利用促進キャンペーン、イベント等主催者と連携した臨時列車のきめ細やかな運行など、乗客誘致活動を積極的に推進しています。また、広告の販売促進に取り組むとともに、姪浜駅及び西新駅に新たに店舗を設置するなど資産の有効活用を図っています。

利用者数は、年間乗車人員156,081,035人（1日平均426,451人）で、平成26年度と比較しますと7,878,308人（5.3パーセント）増加しています。内訳は、定期の利用者が73,148,550人（1日平均199,859人）で、平成26年度と比較しますと2,979,480人（4.2パーセント）増加しており、定期外の利用者が82,932,485人（1日平均226,592人）で、平成26年度と比較しますと4,898,828人（6.3パーセント）増加しています。

このため平成27年度の乗車料収入（消費税抜き）は261億518万円で、平成26年度と比較しますと、13億6,216万円（5.5パーセント）の増となっています。

経営状況については、総収益361億5,042万円に対し、総費用は305億6,983万円で、差引55億8,059万円の純利益が生じました。

その結果、平成27年度末における累積欠損金は1,369億724万円となっています。

今後とも経営の健全化を推進するとともに、安全で快適な輸送サービスの提供に努めます。

2. 収益の収支及び資本の収支

収益の収支	金額
収入	38,356 百万円
支出	32,648 百万円
差引	5,708 百万円
単年度損益(消費税要素除く)	5,581 百万円

平成26年度末累積損益 △ 142,488百万円
 平成27年度損益 5,581百万円
 平成27年度末累積損益 △ 136,907百万円

資本の収支	金額
収入	26,071 百万円
支出	36,384 百万円
差引	△ 10,313 百万円

※ 損益勘定留保資金等で補てん

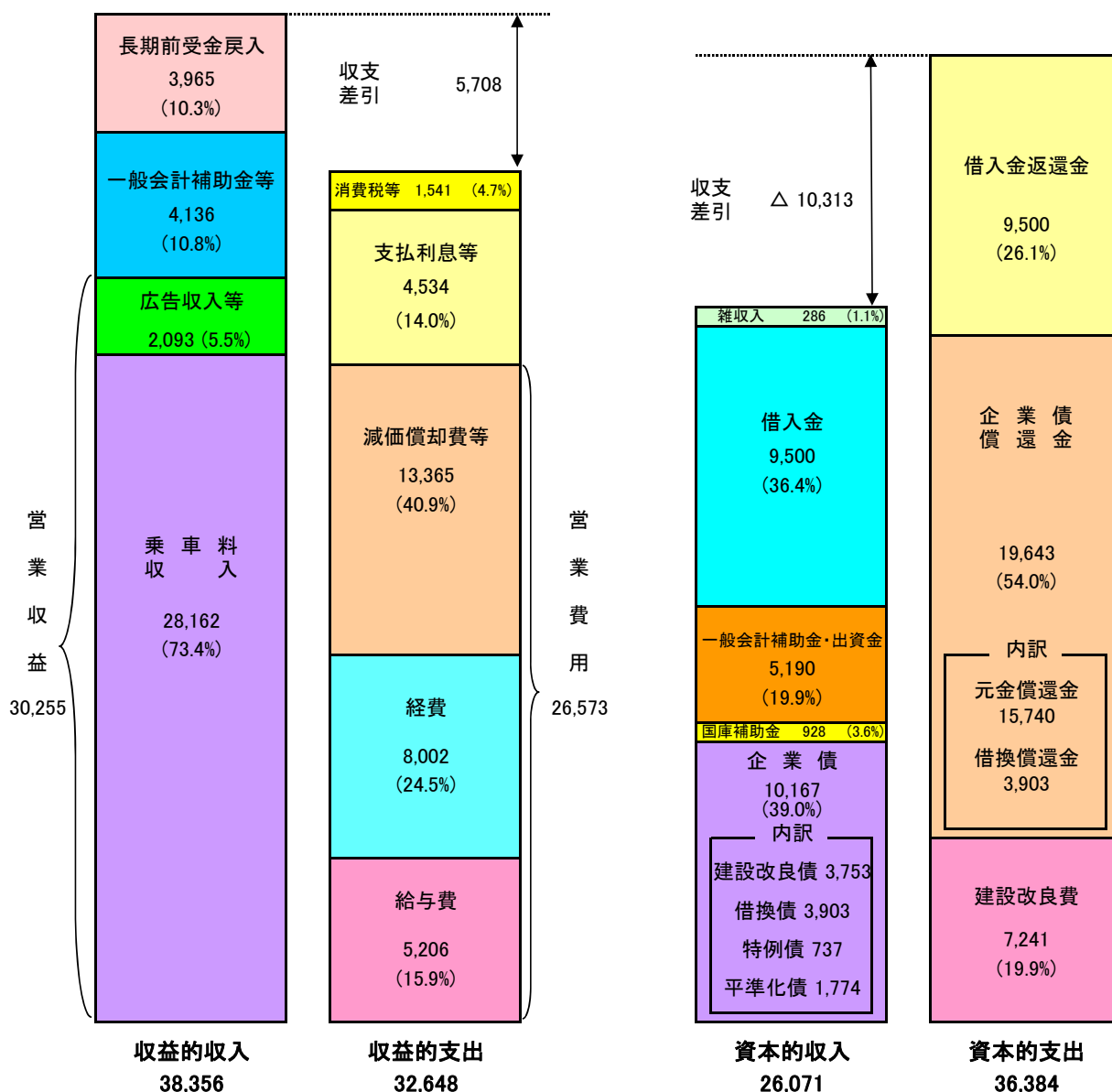
平成27年度末累積資金過不足額 △ 21,163 百万円

収益の収支

(単位:百万円)

資本の収支

(単位:百万円)



3. 業務量(年間又は年度末)

(1) 営業路線及び営業キロ

空港線(1号線)	姪 浜 ~ 福岡空港	13.1 キロメートル
箱崎線(2号線)	中洲川端 ~ 貝 塚	4.7 キロメートル
七隈線(3号線)	橋 本 ~ 天神南	12.0 キロメートル
計		29.8 キロメートル

(2) 車 両 数 212両 (41編成)

(3) 年間走行キロメートル 18,696,531.6 キロメートル

(4) 年間輸送人員 156,081,035人

(5) 一日平均輸送人員 426,451人

○内訳

空港・箱崎線(a) [乗継ぎ分含む]	368,449 人
七隈線(b) [乗継ぎ分含む]	77,523 人
乗継ぎ分(c)	19,521 人
全線計(a)+(b)-(c)	426,451 人

4. 主要な建設改良事業

七隈線延伸事業	事業費	3,107,261 千円
営業線改良事業	事業費	4,125,111 千円

5. 重要施策

区 分	事 業 概 要
<p>① 七隈線延伸事業</p> <p style="text-align: right;">3,107,261千円</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>事業期間 H24～H32 H26 2,331,468千円</p> </div>	<p>早期開業を目指し、着実に土木本体工事等を推進するとともに、軌道や電気・建築・設備に関する実施設計等を進めた。あわせて、事業の進捗等に関する情報を積極的に発信した。</p> <p>(全体の事業概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇延伸区間 天神南～博多 ◇建設キロ 約1.4km(営業キロ約1.6km) ◇建設費 約450億円 ◇利用人数 延伸区間で約6.8万人/日 (このうち新規利用者数…純増約2.1万人/日) ◇開業予定 平成32年度 <p>(平成27年度の主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 博多駅(仮称)工区建設工事 ・ 中間駅(仮称)西工区建設工事 ・ 中間駅(仮称)東工区建設工事 ・ 住吉6号幹線移設工事 ・ 軌道・電気・建築・設備関係実施設計 等
<p>② 福岡空港駅改造事業</p> <p style="text-align: right;">220,647千円</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>事業期間 H25～H29 H26 53,063千円</p> </div>	<p>福岡空港ターミナルビル移転に伴う新しいビルの計画にあわせて、福岡空港駅の1出入口移設や新改札口の整備など、駅レイアウトの変更を行い、地下鉄と空港の交通結節機能の強化を図る。</p> <p>(平成27年度の主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1出入口(国内線第2ターミナルビル到着口付近)の移設 ・ 4出入口(県道東側)へのエレベーター新設

区 分	事 業 概 要	
③ 安全・安心の向上		
(ア) 自動列車制御装置(ATC)等改良工事 事業期間 H18～ H26 225,346千円	302,156千円	経年劣化したATC等を年次計画により改良した。 (姪浜駅、1000N系・2000系車両)
(イ) 列車集中制御装置(CTC)改良工事 事業期間 H27～ (新規)	278,643千円	経年劣化したCTCを年次計画により改良した。 (中央制御所)
(ウ) 土木構造物改良工事 事業期間 H15～ H26 208,711千円	325,406千円	土木構造物(トンネル・高架橋等)の改良工事を実施し、安全性の向上を図った。
(エ) 安全・安心を支える人材の育成 H26 26,904千円	23,932千円	交通局人材育成プランに基づき、安全を支える専門知識や技術を有する職員を育成するために、技術の継承を推進するとともに、委託駅従事員のさらなる資質向上を図った。
④ ユニバーサルデザインに配慮した整備推進		
(ア) 西新駅エレベーター整備工事 事業期間 H27～H28 (新規)	83,038千円	バリアフリー動線確保のため、7出入口(西新交番方面)付近にエレベーターを新設した。
(イ) 2000系車両座席部改良工事 事業期間 H27～H28 (新規)	87,002千円	2000系車両の座席について、ユニバーサルデザインの観点から縦手すりを設置するとともに、定員着座推進のための座席改良を行った。
(ウ) 駅トイレ改良工事 事業期間 H18～H29 H26 51,157千円	187,310千円	駅トイレの段差解消やオストメイト対応等の改良を、年次計画を前倒して実施した。平成29年度までに、全駅トイレのバリアフリー化を完了する。 (博多駅中央口、中洲川端駅川端口、貝塚駅)
⑤ お客様サービスの向上		
(ア) 天神駅・天神南駅乗換案内モニタ設置 (新規)	18,659千円	天神駅及び天神南駅における乗換利便性の向上を図るため、時刻案内や運行情報を表示するモニタを設置した。
(イ) 駅案内サイン等の改良 事業期間 H27～ (新規)	4,806千円	空港・箱崎線の駅案内サイン等について、ピクトグラム(絵文字)を積極的に採用するなど、よりわかりやすいものに改良するため、実施設計を行った。
⑥ 駅施設の省エネルギー化		
駅照明等のLED化改良工事 事業期間 H24～ H26 26,707千円	189,804千円	ホーム、コンコース等の照明や誘導灯のLED化を推進した。 (駅照明…大濠公園駅、西新駅、藤崎駅) (誘導灯…箱崎宮前駅、箱崎九大前駅、貝塚駅)